

暮らしに革新をもたらす デザインマネジメントの流儀



田子 學

Manabu TAGO

株式会社エムテド

代表取締役

<http://mtdo-ch.com>

株式会社エムテド代表取締役を務める田子學氏。これまで東芝デザインセンターで多岐にわたる電化製品のデザインを手掛けた後、ライフスタイルを提案するエレクトロニクスブランド amadana (アマダナ) を展開する株式会社リアル・フリート (現 amadana 株式会社) でデザインマネジメントに従事。「デザイン」で暮らしに革新をもたらした氏を紹介する。

デザインマネジメントとの出会い
「どういう思想でデザインしているか？」
中学校での美術の時間に衝撃を受けたことを今でも鮮明に覚えています。女性教諭がデッサンにテレビ像など石膏像や果物のようなものではなく、モチーフに選んだのは工業製品である「エンジン」でした。その時、自動車の部品を描くことを通して産業や

らしに寄り添った家電をつくらうと起業準備中の方と出会い、後にスピニングアウトすることになりました。それが「amadana」を生み出した株式会社リアル・フリートという会社です。独立系の家電メーカーに立ち上げ当初からかわれたのは、とても良い勉強になりました。そこでは、商品企画から相談窓口まですべて自分達でやらなければならず、とても新鮮でした。

さまざまな家電の開発にかかわってきましたが、同社在籍の終盤にかかわった「アマダナケータイ N705i」で2008年の携帯電話の出荷台数でナンバー1に輝きました。そのおかげで、amadana の認知もより広がり、家電メーカーに限らず、これまで見向きもなかった大手企業からの依頼も増えてきました。しかし、

社会の仕組みのためにデザインが存在していることを知りました。そこからデザイナーという仕事に関心が沸き、当時、総合的なデザイン教育を掲げていた「桑沢デザイン研究所」の創設者・桑沢洋子氏が設立した東京造形大学に入学しました。そこで出会ったのが、デザインマネジメントでした。

1994年に東芝デザインセンターにインハウスデザイナーとして入社して4年目に今では主流となっている「スリットのないエアコン」の開発に携わることとなります。当時、3年後の2000年の発売を目指して開発に着手しました。その間、エレクトロラックス社との共同開発の話も浮上し、ストックホルムへ出向くことができました。ここで出会ったエレクトロラックス社のデザイナーの言葉が、初心を思い出させて

amadana のコンセプトに合致しない場合、残念ながらお断りすることもありました。そこで、amadana に代わる MTD O (エムテド) の設立に至りました。

業界の垣根を越えて 新たな挑戦

MTDO を立ち上げてから1年後、鳴海製陶株式会社からクリエイティブディレクターのオファーを受けました。国内陶磁器市場は過去10年間で半減以下となつています。産業として、衰退の一途を辿っていました。その原因の一つが、大半の既存販路であった百貨店の売り上げ減であり、陶磁器産業にも打撃を与えている事は明らかでした。

デザインマネジメントは、縦割りでは

くれました。それは「どういう思想でデザインしているか？」という言葉です。掃除がしやすいこと、製造の効率化、空間との調和の3つを柱に取り組んだ結果、辿り着いたものがスリットレスの「大清快(だいせいはい)」でした。

「ニーズ」ではなく「ウォンツ」に暮らしに寄り添う
「amadana」ブランド

大量生産・大量消費の時代では合理的で効率的なチームが重宝されます。しかし、社会が成熟した今の時代に求められるものは、対応力や応用力であり、それらを兼ね備えている組織こそ、本当に組織力のあるチームだと思つていきます。それをいかに一本化させていくかがデザインマネジメントの役割だと思つています。

家電業界では今、家電を販売してくれる量販店の意見がメーカーにとつてのお客様となつてしまつています。これは20年以上前から家電業界で起こっていることです。町の電気屋さんのような機能は直接メーカーがお客様の声が聴けたため、とても重要な役割を担っていました。しかし、現在はいかに量販店で平置きにディスプレイされるかに注力してしまつています。

そんなジレンマがあつた中、もつと暮

は力を発揮できません。モノのデザインをする前に、まず彼らの課題の根本は何かということを多面的にヒアリングしました。その結果、今のライフスタイルに欠かせない電子レンジ、食器洗浄機、オーブンに対応できる商材が乏しいなど、生活者の暮らしと乖離した商品構成であることが浮き彫りとなりました。

それらの課題の解答として生まれたのが、「OSORO」です。開発には、まずは今の生活者の幸せの指標となる価値志向に合致する「住環境への配慮」に照準を合わせて、商品を考えて行きました。その一つがスタッキングです。器の角度を55度に統一することで積み重ねがスマートになり、食器棚のスペースを67%縮小できます。もちろん電子レンジにも対応する

■たご まなぶ プロフィール

株式会社エムテド 代表取締役
アートディレクター/デザイナー
慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授
東京造形大学デザイン科特任教授

略歴

東京造形大学11期デザインマネジメント卒。株式会社東芝デザインセンターにて多くの家電、情報機器デザイン開発に携わる。同社退社後、株式会社リアル・フリートのデザインマネジメント責任者として従事。その後新たな領域の開拓を試みるべく、2008年株式会社エムテドを立ち上げ、現在にいたる。現在は幅広い産業分野において、コンセプトメイキングからプロダクトアウトまでをトータルでデザイン、ディレクション、マネジメントをしている。

受賞歴等

GOOD DESIGN AWARD, red dot design award, IF PRODUCT DESIGN AWARD, INTERNATIONAL DESIGN EXCELLENCE AWARD, Design for Asia Award, German Design Award, A'Design Award, JDCAデザインマネジメント賞, ILS AWARDデザインビジネス賞、他受賞作品多数。2010年～日本デザイン振興会(JDP)「グッドデザイン賞」審査委員

日本デザインマネジメント協会 会員

著書

『デザインマネジメント』田子學/田子裕子/樋口寛共著
(日経BP社/2014.7/2,160円)